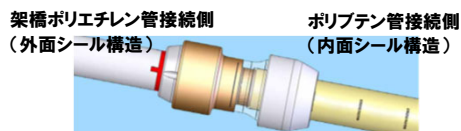


# プッシュマスター

# BRIDGESTONE

## 架橋ポリエチレン管変換継手 (NPEH13J×13A)



### ～架橋ポリエチレン管接続側の使用条件～

◎架橋ポリエチレン管(適用規格:JIS K 6769)のPN15のXM種 呼び径13にご使用下さい。

なお、具体的な製品毎の接続可否につきましては、弊社または幣販売会社にお問合せ下さい。

※架橋ポリエチレン管以外には使用できません。

※長期間使用されたパイプに使用した場合、パイプの変形、外表面の荒れ等により、漏水することがありますので、未使用品以外のパイプには使用しないで下さい。

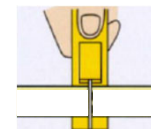
※使用温度及び最高使用圧力については、プッシュマスター

### ～架橋ポリエチレン管を接続する際の注意～

- ① サポートスリーブを必ず入れて下さい。
- ① 差込み不足をしないで下さい。パイプを継手のつきあたりまで確実に差込んで下さい。
- ⊘ 外表面が傷ついているパイプ、ゴミの付着した継手・パイプをそのまま接続しないで下さい。
- ⊘ 継手を分解しないで下さい。
- ⚠ 架橋ポリエチレン接続側はポリプロピレン接続側に比べ、差込み抵抗が大きくなっています。
- ⚠ 架橋ポリエチレン管にカットマークが印字されているものが

### ～架橋ポリエチレン管の接続方法～

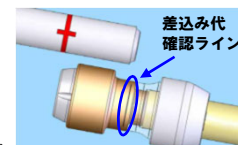
1. 専用パイプカッターを用いて、管軸に対して直角になるようにパイプを切断して下さい。



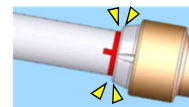
2. 継手の中に同梱されているサポートスリーブを取り出し、パイプ端部に挿入して下さい。



3. パイプの挿入長さ(パイプ先端から約25mmの位置)を確認して下さい。パイプ先端を継手の差込み代確認ラインにあわせ、目印(マーキング等)をつけると、確認しやすくなります。



4. パイプを継手にまっすぐ確実に約25mm(挿入長さ)差込んで下さい。確実にパイプが差込まれている場合、継手先端からサポートスリーブの影が約4mm確認できます。



5. 手でパイプを引張り、パイプの抜け出しがないことを確認して下さい。

※カタログに記載の『プッシュマスター 施工及び保管上の注意』を確認し、施工及び保管を実施して下さい。

株式会社ブリヂストン

HP : <https://www.bridgestone.co.jp/products/dp/pushmaster/index.html>